

学校経営のキーワード

本年度の学校経営の柱は、『**信頼される学校づくり**』である。そのために、『**学校全体で教育するシステムづくり（一貫性・共通性・系統性・継続性のある内容と方法をもつ教育）**』を基本にする。

信頼される学校とは、子どもも親も安心して任せられる学校・学級である。特に学級は、子どもたちにとって学校生活の基盤となる場である。子どもどうし、教師と子ども、教師と親それぞれが信頼し合える学級経営・学年経営を進めなければならない。「村上小学校でよかった。」と子ども、保護者、教職員が心から思い、自慢できる学校づくりをめざす。

めざす教師の姿 ☆明るく温かく ☆率先垂範 ☆公平・公正

- (自覚) 教師として自分を見つめ、言動・態度・服装を客観視する
- (識見) 児童の良い点・悪い点に気づく目・判断力を身につける
- (愛情) その場で注意を与える責任感をもつ
- (教育力) その場で児童を納得させ、直させる教育力をもつ
- (広い視野) 学校全体のレベルで考え、将来を展望できる理解力をもつ

村上小学校教育目標

ともに手をとり前進する児童の育成

「ともに手をとり」は、「共生・共創社会」に生きるために必要な力です。学校では、「仲良く」「助けあって」「協力しあって」「磨きあって」という言葉で指導します。

「前進する児童」というのは「自己推進力」をもつ子どものことです。目標や夢に向かって、自ら考え判断し主体的に行動できる力をさします。「生きる力」でもあります。それは学校教育の目標である「社会的に自立できる人間の育成」につながるのです。

学校では、「進んで」「積極的に」「自主的に」という言葉で指導します。

めざす子どもの姿

- ① 勉強や運動など、一生懸命にがんばる子
- ② 人となかよく生活できる子
- ③ 進んで、友達や学校のために行動できる子

この3つは、これからの社会を生き抜くために必要な基本の姿です。どの学年の子どももできるようにしたい。

めざす学校の姿

- (集中) 授業や行事等一つ一つの活動に集中して取り組む学校
- (ぬくもり) 明るくあいさつ、元気な歌声と笑顔あふれる温もりのある学校
- (清潔) 整理整頓、清掃の行き届いた清潔感あふれる学校

5つのチャレンジ

- ① あいさつを正しく行いましょう（オアシスサ）
- ② 悪い言葉は使わないようにしましょう
- ③ 相手をお呼びするときは「くん、さん」づけにしましょう
- ④ 時間を守りましょう
- ⑤ もの大切に使いましょう

「子ども達が健やかに、まっすぐに育つための学校」にするためには、みんなでつくり上げなければならない行動があります。大人も子どももみんなが同じ気持ちで実践していくことが大切です。これら5つの行動が「できて当たり前」となるような学校にしましょう。

一人一人の子ども達に育てたい力

確かな学力

- ① 読み・書き・計算力（学習の基盤）
- ② 各教科の基礎・基本力（各教科の学習内容）
- ③ 課題解決能力
- ④ コミュニケーション能力（話す・聴く・交流）
- ⑤ 情報処理・国際理解等に関する力

豊かな社会力

- ① 夢やめあてをもち、意欲的に生活する力
- ② ルールやマナーを守り、正しく行動する力
- ③ 相手の気持ちを考えて行動する力
- ④ 社会や他人のために積極的に役立つとうとする力
- ⑤ 共生・共創社会をつくろうとする力

がんばりの効く体力

- ① 活発に運動したり遊んだりできる力
- ② 自分の体をコントロールできる調整力
- ③ 運動や勉強を根気強くやり続ける力
- ④ 運動や作業に進んで取り組む力
- ⑤ 暑さや寒さに弱音を吐かないたくましい力

一人一人がわかる楽しい授業の実践を通して身につけさせる

- ① 教師の授業力を高め、質の高い授業を行う。
- ② 交換授業や合同授業、教科担任制等、教師の特性を生かした指導
- ③ 算数科の少人数指導できめ細かい指導
- ④ 音読・暗唱学習で記憶力・集中力の育成
- ⑤ 総合的な学習の時間で幅広い学力の定着・英語活動の重視
- ⑥ 体験的学習で体に染みこむ学力の育成
- ⑦ 全学年校外学習の実施
- ⑧ 4・5・6年生自然の家宿泊学習
- ⑨ 朝読書の実施（毎朝15分間）、週1回は習熟の時間
- ⑩ 月例テストで計算力・漢字力の向上

日々の心を耕す教育を体験や教師の姿等を通して育てる

- ① 基本的な生活習慣を指導する
- ② 善悪の判断をきちんと指導する
- ③ 社会生活上のマナーやルールをスキルとして指導する
- ④ 道徳の授業の充実と心のノートを活用する
- ⑤ 学校行事や児童会活動を生かす
- ⑥ 日々の清掃や作業、係の仕事を大切に指導する
- ⑦ 読書を通して心を育てる
- ⑧ 地域の方々との交流をする
- ⑨ 他学年との交流をする

授業や体育的行事の充実と日々の余暇時間を通して育てる

- ① 運動の意味や楽しさを理解させる「楽しい体育」の授業
- ② 器械運動とゲームを主としたカリキュラム
- ③ マラソンの日常化（八千代市一周マラソン、マラソン記録会）
- ④ 外遊びの奨励（朝運動7：40～、青空タイム、昼休み）
- ⑤ 遊具の充実（一輪車、竹馬、輪、その他）
- ⑥ 縄跳び学習の充実（縄跳びカード、風の子賞で意欲化）
- ⑦ 簿着の励行（学校の学習着で活動）
- ⑧ 「早寝・早起き、朝ごはん」の励行
- ⑨ ミニバスケットと総合体育祭陸上練習の充実

【家庭との連携】

教育は、家庭との連携が最重要である。そのために、「開かれた学校づくり」をめざす。保護者の声を大切に、ツーウェイの関係構築する。

☆経営方針の説明

- 月1回の学校・保健だより
- 校長室だより（なしのはな）
- グランドデザインの配布
- PTAの各会で挨拶
- 学年・学級通信の発行

☆教育内容の公開

- 年3回の授業参観・学級懇談会
- 校内音楽会等の行事公開
- 夏休み作品展、書き初め展公開
- 常時公開を前提とする

☆保護者との対応

- 最優先に対応する
- 事が起きた場合は、家庭訪問が原則
- 我が子を思う親心を理解する。
- 迅速果敢・誠実・丁寧な対応をする。

【地域・関係機関との連携】

- PTA・父親の会との作業や行事の開催
- 村上地区青少年健全育成連絡協議会への協力
- 村上小学校交通安全隊、スクールガードの協力
- 八千代警察署・村上交番・青少年センターとの連携

